



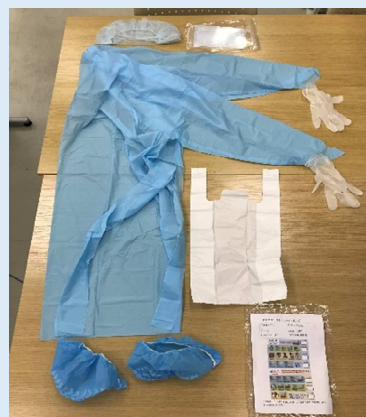
レベル別指標 (職場環境 編)

	換気	物品消毒液	掃除 (消毒場所)	昼食
レベル 0 平常	<ul style="list-style-type: none"> ・常時換気していない場合は、1時間に2回、1回5分程度の換気が有効。 ※1時間に1回10分換気するよりも、1時間に5分を2回換気したほうが換気の効果は高い。 ・室内が密な場合は、常時換気する。 ・2方向の窓を開けて (できるだけ対角線上に) 換気する。 ・2方向に窓がない場合は、換気を効率よく行うために、扇風機やサーキュレーターを活用し、窓側に向かって回すと有効。 ・換気扇がある場合は常時使用し、1か所窓を開けておく。 ・夏場の対応：エアコンをつけたまま換気し、エアコンの温度を低めに設定する等調整する。できればエアコンから離れた場所の窓を開けると節電となる。 ・冬場の対応：換気をしながら暖房を使用する際は、サーキュレーターをエアコンに向けて回すことで、室内の温度・湿度を一定に保つことができる。 <下写真参照> ・湿度は40～60%に保つようにし、加湿器を置く場合は部屋の中央やエアコン下に設置すると効果的。 <p><NHK特設サイト新型コロナウイルス 可視化でまるわかり！新型コロナ対策の新常識 (より効果的な換気方法とは?)> https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/special-program_0617/参照</p>	次亜塩素酸ナトリウムや法人が支給する消毒液に従う。または、50%以上のアルコール消毒液を使用する。 ・冬場の対応：ノロウイルス流行時期は次亜塩素酸ナトリウムを使用する。	共有する電話、パソコン、ドアノブ、公用車のハンドル等を始業前、昼食前に消毒する。 電話は使用後にその都度消毒する。 <下写真参照>  面接室は毎朝と使用後にその都度消毒する。	同じ職場で昼食可。マスクを外している時は会話を避ける。
レベル 1 注意				同じ職場で昼食可。マスクを外している時は会話を避ける。
レベル 2 警戒				
レベル 3 警報		フェイスシールドはアルコールで消毒する。		
レベル 4 特別警報				
レベル 5 警戒警報				

マスク・手指消毒	勤務体制	衝立や仕切り	検温	来所相談者
<p>サージカルマスク使用。 人の手がよく触れる場所を触ったら、手指消毒する。手指消毒するまで、顔を触れないようにする。</p> <p><資料1・2参照> ・マスクの効果について マスクにはウイルスの吸い込みを抑える働きよりも対面する人への暴露量を減らす効果が高い（東京大学医科学研究所より新型コロナウイルスを用いた実験で証明）</p> <p><NHK特設サイト新型コロナウイルス 可視化でまるわかり！新型コロナ対策の新常識（可視化で分かるマスクの効果） https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/special-program_0617/参照></p>	<p>職場環境に応じてソーシャルディスタンスが保てる体制をとる。</p>		<p>出勤前に自宅で検温して出社。体調が悪ければ無理に出社しない。</p>	<p>来所相談者への注意事項を記載した案内文を設置。来所相談者及び対応した職員名、日時をリスト化する。</p> <p><写真11.12参照></p>
	<p>ソーシャルディスタンスが保てない職場環境である場合は、グループ分け、時差出勤、テレワークの実施。</p>	<p>職員机の正面と側面に衝立や仕切りを設置。また、相談室は対面にビニールシート等を設置。</p> <p><写真1～10参照></p>	<p>出勤前に自宅で体温測定を行い、体調が悪い場合は無理に出社しない。 体温測定の実施や回数については法人の指示に従う。</p>	
				<p>マスク着用、手指消毒、検温に協力頂く。 来所者に統一した書式に沿って症状の有無の確認。2週間以内に37度以上の発熱や県外への外出や県外からの訪問者と接触されている場合は、電話での対応や後日改めて訪問する。記録した用紙はファイルに保管する。<資料3参照></p>

訪問時の注意点

極力訪問時に出されるお茶などは頂かない。マスクの着用と訪問は短時間で行う。極力連続しての訪問は行わず、やむをえず連続して訪問する際は、手指消毒をアルコールで行い、次の訪問宅に伺う。感染が疑われる場合は、訪問は控え、電話で対応する。状況によってどうしても訪問する必要がある場合は、感染防御（ガウン・マスク・フェイスシールド又はゴーグル・ビニール足袋）をして訪問する。＜右写真参照＞使用したガウンを脱ぐ際には注意する。使用した物品はビニール袋に入れて廃棄する。



＜資料4参照＞

訪問前にあらかじめ電話での聴取を行い、訪問はできるだけ短時間で行う。必要以外玄関先での訪問とする。

訪問はできるだけ短時間で終える。また訪問時はフェイスシールドを着用。必要時訪問とし、電話で対応できることは電話で行う。訪問先の面談相手の体調確認を事前に行い、統一した書式に記録し各自保管する。＜資料3参照＞

県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、
10月28日からのリスクレベルは
【レベル2警戒】とします。
なお、感染状況は縮小傾向にあります。

【熊本県リスクレベル基準】

【目的】患者数が増加に転じるタイミングを早期に捉え、警戒を発する基準を設定することで、感染拡大防止に向けた対策の徹底や県民への早期の警戒を呼び掛ける。

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

リスクレベル	県の判断基準	対策の考え方・方向性	想定状況
レベル5 厳戒警報	県内で ①新規感染者150名以上 かつ ②病床使用率25%以上 等	・重症者、ハイリスク者の救命を最優先とした入院調整。 ・大規模クラスターや感染拡大の確実な封じ込めのための体制整備、検査実施等。 ・メリハリを利かせた接触機会の軽減のため、強い制限を要請。	複数の大規模クラスターの発生
レベル4 特別警報	県内で ①新規感染者50名以上 かつ ②リンク無し感染者25名以上	・地域でのクラスター発生及びクラスター連鎖の予防のため、保健所への人的支援及び幅広い検査、原因施設への指導等を行う。 ・メリハリを利かせ、これまでクラスターが発生した施設等から順に感染拡大防止対策の強化を要請。	感染の更なる拡大と、クラスターの散発/連鎖
レベル3 警戒	県内で ①新規感染者30名以上 又は ②リンク無し感染者15名以上	・地域でのクラスター発生を予防するため、感染増加の原因に着目し、優先順位を付け、特にハイリスクなところから感染防止対策の強化を図る。	感染の拡大と、小規模クラスターの発生
レベル2 警戒	県内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合	・新しい生活様式や、基本的な感染防止対策の徹底を啓発	
レベル1 注意	①国内で新規感染者が発生 かつ ②県内では新規感染者が未発生		
レベル0 平常	国内で新規感染者が確認されていない	・日常的な対策を啓発	

※これ以上の爆発的な感染拡大や、国が緊急事態宣言を布告する場合の対応は、状況に応じ、更に強い措置を検討する。

※これまでの感染防止対策の経験を踏まえ、メリハリを利かせた対策を行うことを基本とする。

※国の分科会が示した6指標によるステージ分類についても、参考指標とし、毎週公表する。

※今後の感染状況等の最新の知見に合わせ、必要に応じて改定を検討する。

【熊本県における新型コロナウイルス感染者発生状況（7/21~10/26）：確定日ベース】



衛生的な手洗いの手順

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議のメンバーが提言!

流水を用いる場合

- 流水で洗浄する部分をぬらす。
- 薬用石けん等を手のひらにこる。
- 手のひらを洗う。
- 手のひらで手の甲を包むように洗う。反対も同様に。
- 指の間もよく洗う。
- 指までよく洗う。
- 親指の周囲もよく洗う。
- 指先、爪もよく洗う。
- 手首も洗う。
- 流水で洗い流す。
- ペーパータオル等で拭く。

POINT

- 水と石けんによる手洗いは、付着した細菌やウイルスを除去して接触感染のリスクを下げる。
- 石けんの界面活性作用により汚れが浮き上がり、手指をすりあわせることで除去される。
- 石けんについては市販されている通常のものでよい。
- 毎回30秒以上の時間をかけて洗う。手洗いのあと、手指をきちんと乾燥させることが重要。

「アムビエ様」とは？
江戸時代に愛を込めて「愛憎が流行した」とは私の愛をこめて、人の心にも「アムビエ」が流行したと伝えらるる「愛憎」を私に「アムビエ様」として表現した。

アムビエ様とは？
江戸時代に愛を込めて「愛憎が流行した」とは私の愛をこめて、人の心にも「アムビエ」が流行したと伝えらるる「愛憎」を私に「アムビエ様」として表現した。

退散

デザイン・イラスト: 和室 (Studio Wazen)

速乾性擦式 消毒用アルコール製剤を用いる場合

- 消毒液の規定量を手のひらに受け取る。(注)
- はじめに両手の指先に消毒液をすり込む。
- 次に手のひらによくすり込む。
- 手の甲にもすり込む。反対も同様に。
- 指の間にもすり込む。
- 親指にもすり込む。
- 手首も忘れずにすり込む。乾燥するまでよくすり込む。

POINT

- 流水による手洗いに代わる方法。
- 両手で、手の全表面をくまなく、乾くまですり込む。

「企業のための新型コロナウイルス対策マニュアル」
(和田耕治・著/東洋経済新報社)より



正しいマスクの装着の仕方

顔とマスクの間に隙間ができてしまうと本来の性能が得られません。着用方法に従って、鼻からあごを覆うように正しく装着してください。

- ノーズピースのある方を上に、ゴムひもの接着面を口側にしておいてください。
- ゴムひものを無理なくひっぱって耳にかけてください。
- ノーズピースを鼻の側で押さえてピッタリとフィットさせてください。
- 下側を引きブリーツを充分伸ばして、鼻からあごまで覆うようにしてください。

引用:サンエムパッケージ株式会社ホームページより

新型コロナウイルス感染予防 訪問前後記録表 (記録後、保管ファイル綴じる) ささえりあ

本日の訪問: 実施 中止

〇 訪問先、ご相談者の方への事前の説明文

～ご相談者の皆様へ～ 新型コロナウイルス感染症が県内でも発生しております。当センターでは感染予防の為、ご本人様・ご家族様の健康状態についてお伺いしております。(以下の体調把握表にそって、お尋ねする) 現在も合わせて2週間以内に、37度以上の発熱や感染症を疑う状態・状況のある場合は、電話でのご相談対応や、後日体調が回復してから改めてご訪問させていただく場合がございます。

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、面談中は、マスク着用と換気のご協力をよろしくお願いいたします。

〇 訪問先相談者(対象者・ご家族等)の方の以下体調把握

訪問日時	令和2年 月 日 () : ~ :						訪問時
相談者氏名	事前聴取・訪問者 ()						
	現時点で、またはこの2週間以内に、以下のような症状や状況がありましたか？						
項目	体温 (発熱の有無)	風邪症状(頭痛・喉の痛み・鼻水・咳・嘔吐・等)	強いだるさ・匂いや味覚の異常	呼吸器症状(咳・息切れ・息苦しさ)	同居者の体調不良	県外への外出・県外訪問者との接触	マスク着用の有無
対象者ご本人	___℃ (有・無)	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
ご家族様()	___℃ (有・無)	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無

(※訪問時、事前聴取と違う状態・状況であると把握した場合は、赤字で追記・訂正を行い、記録保管する。)

新型コロナウイルス感染予防 訪問前後記録表 (記録後、保管ファイル綴じる) ささえりあ

本日の訪問: 実施 中止

〇 訪問先、ご相談者の方への事前の説明文

～ご相談者の皆様へ～ 新型コロナウイルス感染症が県内でも発生しております。当センターでは感染予防の為、ご本人様・ご家族様の健康状態についてお伺いしております。(以下の体調把握表にそって、お尋ねする) 現在も合わせて2週間以内に、37度以上の発熱や感染症を疑う状態・状況のある場合は、電話でのご相談対応や、後日体調が回復してから改めてご訪問させていただく場合がございます。

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、面談中は、マスク着用と換気のご協力をよろしくお願いいたします。

〇 訪問先相談者(対象者・ご家族等)の方の以下体調把握

訪問日時	令和2年 月 日 () : ~ :						訪問時
相談者氏名	事前聴取・訪問者 ()						
	現時点で、またはこの2週間以内に、以下のような症状や状況がありましたか？						
項目	体温 (発熱の有無)	風邪症状(頭痛・喉の痛み・鼻水・咳・嘔吐・等)	強いだるさ・匂いや味覚の異常	呼吸器症状(咳・息切れ・息苦しさ)	同居者の体調不良	県外への外出・県外訪問者との接触	マスク着用の有無
対象者ご本人	___℃ (有・無)	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
ご家族様()	___℃ (有・無)	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無

(※訪問時、事前聴取と違う状態・状況であると把握した場合は、赤字で追記・訂正を行い、記録保管する。)

PPEセット【1セット各1枚入り】

- 長袖エプロン
- ディスポキャップ
- マスク
- シューズカバー
- フェイスシールド
- ビニル袋(廃棄用)
- 手袋

COVID-19 PPEの着け方
(病室外で着ける)

最初にアルコールで手指衛生を実施する

できたら

① ガウンを着るに合わせる ② 袖を通す ③ 腕用を腕用フック穴に通す ④ 顔に密着するように顔全体を覆う ⑤ 首回りから大きく深く呼吸はテープで調整する

できたら

① ノーズピース部分に紐(折り目をつける) ② ゴム紐を耳にかける ③ 鼻梁の形に合わせて食べる ④ 紐を鼻の下まで伸ばし鼻と口を覆う ⑤ アイガードを装着する

できたら

① 手袋の手首の部分をつかんではめる ② 反対の手も1と同様に手袋を装着する ③ ガウンの袖口の上に手袋を被せる(顔が見えないようにする)

できたら

肌の露出が最小限を確認する

COVID-19 PPEの外し方
(病室内で外す)

使用後のPPEの外側表面は汚染しているため、外側表面を直接素手で触れない！

できたら

① 手袋の外側をつまむ ② 片側が内側になるように外す ③ 袖口から中に指先を差し込み、反対側に外す ④ フック穴から腕用を外す ⑤ 手指衛生を行う

できたら

① 顔口を持ち鼻紐をゆるめる ② 汚染面が内側になるように顔のあたりで折りたたむ ③ 清潔な内側を折り触れから鼻紐を強く ④ 鼻紐を引込み、清潔な大きさにまとめ、静かに廃棄する ⑤ 手指衛生を行う(手+肘まで行う)

できたら

PPEを外す途中で汚染したと感じたらアルコールで手指衛生を実施する

① ゴム紐を持ち、アイガード+マスクと一緒に外す ② 手指衛生を行う

※使用後はビニル袋にまとめて密封→ごみ袋に入れて(二重密封)燃えるゴミで廃棄してください。

写真1 (北3入口案内文)



写真2 (北1: 事務所内)



写真3 (北2: 事務所内)



写真4 (北5: 事務所内)



写真5 (北1: 相談対応席)



写真6 (北2: 相談対応席)



写真7 (北2: 相談対応場所)



写真8 (北3: 相談対応席)



写真9 (北4: 相談対応席)



写真10 (北5: 相談対応席)

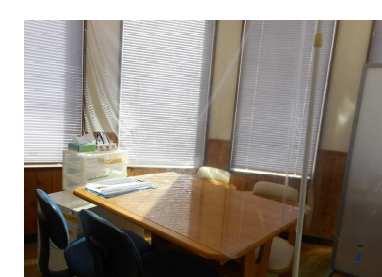


写真11 (北5: 入口案内文)



写真12 (北4: 入口案内文)

